

●語彙を深める！ いくつもの意味・品詞がある語

中学で学んだ学習語はほとんどが重要基本語です。重要基本語はいくつもの意味や品詞を持っています。英文を読むとき、知っている意味をあてはめてもすっきりしなかったら、別の意味か品詞かもと疑って、前後の英文を読み返しながらか辞書を引いてください。

次は、世界のいろいろな書きことばのしくみと使われている文字についての章で、「コミュニケーションにとって重要な文字は、歴史をつうじてそれぞれ独自に形づくられた」に続く英文です。

…For example, “A” in the English alphabet comes from the shape of an ox head. In Japanese, hiragana was made from Chinese characters. Roots of many letters(1) and characters(2) even date(3) back to ancient times(4). …

(from *My Way English Communication I*, p.62)

Q 1

それぞれの下線つきの語について、知っている意味と上の英文にあてはまる意味を辞書で調べて書きなさい。なお、(3)については品詞に注意すること。

- (1) 知っている意味 () 文脈にあてはまる意味 ()
- (2) 知っている意味 () 文脈にあてはまる意味 ()
- (3) 知っている意味 () 文脈にあてはまる意味 ()
- (4) 知っている意味 () 文脈にあてはまる意味 ()

解説

以下では、教科書本文を読むさい、どのように辞書を読み解けばよいか具体的に示してありますので、自分の答えと調べかたを見直しましょう。

- (1) を辞書で調べる前に、**letters and characters**と**A and B**の形になっていることを確認する。「③文学」では文意に合わない。②用例にヒントあり。
- (2) (1)をふまえて辞書を引く。見出し語のすぐ下に「意味マップ」があるので確認する。「特徴」という中心的意味があり、人の特徴＝性格、さらにマップ下部の「特徴ある印」を確認。⑥用例が同じ語句と気づく。それぞれ(1)(2)の含みとして「表音、表意」がわかれば文句なし。
- (3) 文脈から名詞ではなく動詞と推測して辞書を引く。自動詞①をみて安心せず、もう少し下まで探せばぴったりのイディオムにたどりつく。
- (4) **ancient**を先に引けばあたりはつく。**time**「意味マップ」で確認し⑫にたどりつけば用例がほぼ答えになる。